

災害廃棄物仮置場設置・運用訓練の概要

1 実施概要

(1) 目的

大雨等による災害が各地で頻発する中、発災時に速やかに仮置場を設定できるよう、職員の意識啓発及び知識と技能の向上を図るため災害廃棄物仮置場の設置、運営訓練を行いました。

(2) 日時

令和3年7月20日(火) 13時50分～16時30分

(3) 内容・会場

① 講義(リサイクルプラザ アイクル講堂)

(公財)廃棄物・3R研究財団の協力を得て、災害廃棄物に対する初動対応、仮置場のレイアウト等について講義を行いました。

② 実地訓練(夏島グラウンド)

夏島グラウンド内に三角コーン等で分別のレイアウト、導線を設定し訓練用のごみ(粗大ごみや廃家電等)を持ち込み、受付から分別どおりに廃棄物を降ろすロールプレイングを行いました。

③ 振り返り(リサイクルプラザ アイクル講堂)

仮置場の開設から運営までの実地訓練の中で気づいた課題等を洗い出し、職員数名から発表してもらい、また他団体の参加者から講評をいただきました。

(4) 参加者

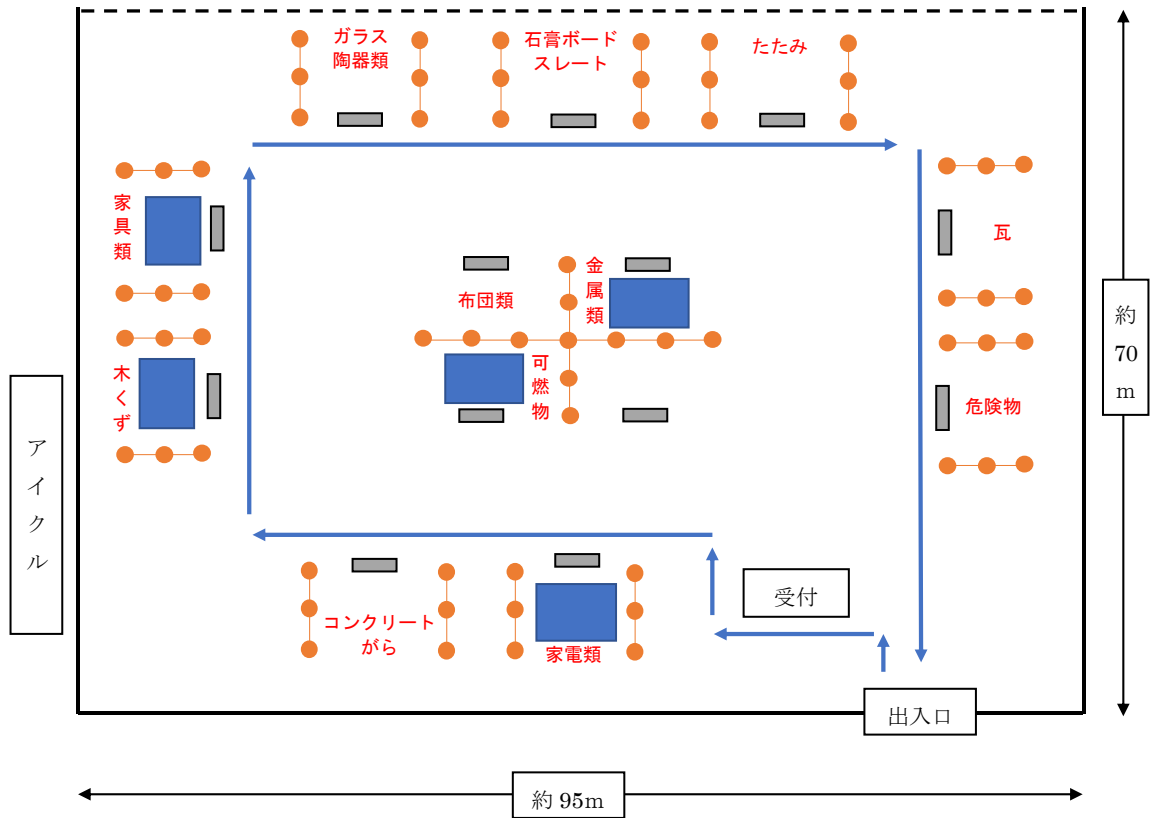
- ・資源循環部等市職員 31名
- ・(公財)廃棄物・3R研究財団 2名
- ・(一財)日本環境衛生センター 理事ほか2名
- ・神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課 職員1名



会場



講義の様子






	分別エリア	三角コーン、バーで構成 (今回搬入する品目のみ)
	分別看板	パイプいすに貼付
	ブルーシート	訓練用ごみを配置するエリアへ敷設 (今回搬入する品目のみ)

図 仮置場のレイアウト

訓練の様子



レイアウトをもとに、コーンやブルーシートを設置しました。



用意した訓練用ごみ



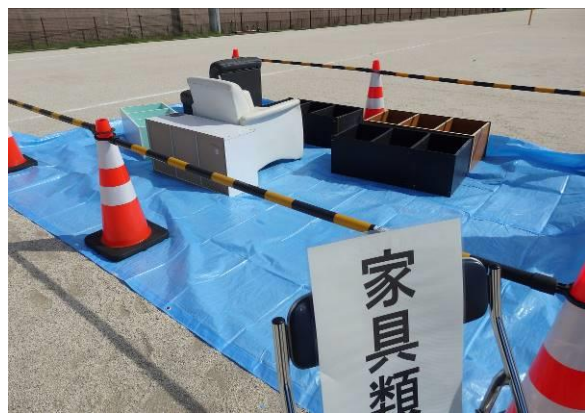
受付：職員がごみを確認し、受付表にごみの種類を記入します



誘導：受付後、職員がごみを降ろし場所へ誘導します。



荷降ろし



荷降ろし後の様子